



【クラスターが基本的に発生していない施設類型】

施設類型	業種別「感染拡大予防ガイドライン」での主な感染防止対策
○劇場、観覧場、映画館、演芸場 ○集会場、公会堂、展示場 ○博物館、美術館、図書館 ○百貨店、マーケット その他の物品販売業を営む店舗	【共通】 ①従業員、客等のマスク着用 ②人と人との十分な間隔（2mを目安）の確保 ・十分な座席間隔（四方を空けた席配置）、 入退室時・集合場所での間隔確保、入場制限の実施など ③適切な消毒、換気など ④対面場所等でのパーティションの設置 ⑤従業員、客等で体調不良や症状のある人の衛生・健康面の管理 ⑥キャッシュレス決済の導入（集会場、公会堂、図書館を除く）
○自動車教習所又は学習塾その他学習支援業を営む施設 ○理髪店、美容業、その他類似サービス業を営む店舗	【共通】 ◎上記①～③・⑤ 【理髪店、美容業】 ◎上記①～③・⑤に加え、 ⑦必要に応じて目を覆うことができる物（ゴーグル等）の着用
○遊技施設 （ゲームセンター、パチンコ店等）	【共通】 ◎上記①～⑤に加え、 ⑧客同士の大声での会話の自粛の呼びかけ かつBGMや機械の効果音の最小限化 【パチンコ店】 ◎上記①～⑤・⑧に加え、 ⑨隣県が休業要請地域の場合、県外居住者の入場のお断り
○ホテル、旅館業を営む施設	【共通】 ◎上記①～⑥に加え、 ⑩大皿での食品提供の自粛





【クラスターが発生した主な施設類型】

施設類型	業種別「感染拡大予防ガイドライン」での主な感染防止対策
○食堂、レストラン等の接待を伴わない飲食店	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none">①マスクやフェースシールドの着用②人と人との十分な間隔（2mを目安）の確保<ul style="list-style-type: none">・十分な座席間隔（四方を空けた席配置）、入退室時・集合場所での間隔確保、入場制限の実施など③適切な消毒、換気など④パーテーション（アクリル板）の設置<ul style="list-style-type: none">・従業員と客、客と客の間など⑤従業員や客等に発熱や感冒症状がある場合の衛生健康面の管理⑥大皿での取り分けによる食品提供の自粛⑦キャッシュレス決済の導入
	<p>【外食業】 ◎上記①～⑦に加え、</p> <ul style="list-style-type: none">⑧テイクアウト導入施設における事前予約注文の仕組みの導入⑨配達時、食器を直に触れないように袋等にに入れるなどの対応
	<p>【バー】 ◎上記①～⑦に加え、</p> <ul style="list-style-type: none">⑩入店前の検温⑪入店時に連絡先や体調等の聞き取り⑫当面の間、県をまたいだ入店お断りの案内



施設類型ごとの感染防止対策③



【クラスターが発生した主な施設類型】

施設類型	業種別「感染拡大予防ガイドライン」での主な感染防止対策
○スポーツジム等の屋内運動施設	【共通】 ①マスクやフェースシールドの着用 ②人と人との十分な間隔（2mを目安）の確保 ・十分な座席間隔（四方を空けた席配置） 入退室時・集合場所での間隔確保、入場制限の実施など ③適切な消毒、換気など ④入店時の検温 ⑤パーテーション（アクリル板）設置（従業員と客、客と客の間など） ⑥従業員や客等に発熱や感冒症状がある場合の衛生健康面の管理 ⑦当面、県をまたいだ入店お断りの案内 ⑧入館、来館者の記録を管理し、最短でも1ヶ月分は保持
○カラオケ、ライブハウス等	【共通】 ◎上記①～⑥に加え、 ⑨室内入室は定員の50%に制限 ⑩キャッシュレス決済の導入 ⑪氏名、緊急連絡先の把握
	【ライブハウス】 ◎上記①～⑥・⑧～⑪に加え、 ⑫来場者と接触するハイタッチなどの演出を避ける。 ⑬ステージと客席の距離をなるべく2m確保する。
○キャバレー、ナイトクラブ等の 接待を伴う飲食店	【共通】 ◎上記①～⑪に加え、 ⑭大皿での取り分けによる食品提供の自粛 ⑮客同士のお酌、グラスの回し飲みを避けるよう注意喚起 ⑯客の横でカラオケやダンスを行うなどの接客を当面自粛
	【ナイトクラブ】 ◎上記①～⑪・⑭～⑯に加え、 ⑰大声での飛沫拡散を抑えるため店内音量を必要最小限に調整



感染防止に当たっての注意事項①



事業者において、提供しているサービスの内容に応じて、「接触感染」と「飛沫感染」のそれぞれについて、従業員や顧客の動線や接触等を考慮し、消毒など対策を実施する。

○接触感染対策のポイント

- 他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所と頻度を特定
- 高頻度接触部位には特に注意
(テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネル、レジ、蛇口、手すり・つり革、エレベーターのボタン など)

○飛沫感染対策のポイント

- 換気の状態を考慮しつつ、人と人との距離がどの程度維持できるか
- 施設内で大声などを出す場がどこにあるか など

出典：新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年5月4日）

徳島県新型コロナウイルス感染症対策本部（2020年6月15日）

感染防止に当たっての注意事項②



各業種に共通する留意点

- 人との接触を避け、対人距離を確保（2mを目安）
- 感染防止のための入場者の整理
（密にならないよう対応。発熱や感冒症状がある者の入場制限を含む）
- 入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
- マスクの着用（従業員及び入場者に対する周知）
- 施設の換気（2つの窓を同時に開けるなどの対応も）
- 施設の消毒

※業種ごとに対応を検討するに当たり、全国でクラスターが発生している施設においては、**格段の留意が必要**

主な感染対策

- 他者と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限に！
 - 複数の人の手が触れる場所を適宜消毒
 - 手や口が触れるようなもの（コップ、箸など）は、適切に洗浄消毒など特段の対応を！
 - 人と人が対面する場所は、アクリル板・透明ビニールカーテンなどで遮蔽
 - ユニフォームや衣服はこまめに洗濯
 - 手洗いや手指消毒の徹底を！
 - 高齢者や持病のある方については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、サービス提供側においても、より慎重で徹底した対応を検討
 - 地域の生活圏において、地域での感染拡大の可能性が報告された場合の対応について事前に検討を！
- ※ なお、感染拡大リスクが残る場合には、対応を強化すること！

感染防止に当たっての注意事項③



<p>トイレ</p> <p>※感染リスクが比較的高いと考えられるため留意</p>	<ul style="list-style-type: none">• トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。• ペーパータオルを設置するか、個人用にタオルを準備する。• ハンドドライヤーは止め、共通のタオルは禁止する。
<p>休憩スペース</p> <p>※感染リスクが比較的高いと考えられるため留意</p>	<ul style="list-style-type: none">• 一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話を避ける。• 休憩スペースは、常時換気することに努める。
<p>ゴミの廃棄</p>	<ul style="list-style-type: none">• 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。• ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。• マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う。
<p>清掃・消毒</p>	<ul style="list-style-type: none">• 市販されている界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃する。• 通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を始業前、始業後に清拭消毒することが重要。
<p>美容院や理容、 マッサージなど</p>	<ul style="list-style-type: none">• 顧客の体に触れる場合は、手洗いをこまめにするなど接触感染対策を強化する。 <p>※ 手袋は医療機関でなければ特に必要はなく、こまめな手洗いを主とする。</p>

出典：新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年5月4日）

徳島県新型コロナウイルス感染症対策本部（2020年6月15日）